

## JAS Information

## 「オーディオ・ホームシアター展 2013」 終了報告

10月18日(金)～20日(日)に開催致しました「オーディオ・ホームシアター展 2013」は最終日20日の暴風雨とも思われるアクシデントは有りましたが、無事終わることができ、関係者一同、心から感謝を申し上げます。

今年は61回目となる新たなスタート年となり、①オーディオ原点回帰、②協会ならではの技術的情報発信強化、③ビギナーとマニアの融合強化、④ユーザー参加型などをコンセプトとして打ち出し、①音のサロンなど徹底した試聴スタイルの追求、②生演奏などソフトとのコラボレーション、③ブルーレイオーディオ、NHK他による8K・22.2chや4Kのデモ、ネットワークオーディオの全容開示、及びヘッドホン試聴の頭内定位に対する問題提起などの技術提案、④工作教室、ライブレコーディング体験会など、盛り沢山な内容となりました。

結果は、3日間の総入場者数は17,900人(目標:20,000人、昨年:27,500人)となりました。これは、当初より顧客ターゲットをミドル層に絞り込み、確実にオーディオ市場の底上げを図る戦略を立てたことによります。ちなみに、入場者数は減りましたが、最初から目的を持ったお客様が来場されたことにより、会場内の売り場(レコード、出版物、持ち帰り商品等)による売り上げは概ね対前年比20%増となりました。また、各ブースや試聴室、イベントは常に満員状態であり、顧客ニーズと出展内容がかなりマッチングできたものと考えます。当然、新会場でもあり、地の利、知名度、会場づくりなど当初からの課題の結果ともいえますが、FMスポット、音楽雑誌、駅貼り、ゆりかもめ車内張りなど、従来とは違った広報宣伝への取り組みを展開しました。

展示会レポートは本号に掲載の村瀬氏による「オーディオ・ホームシアター展 2013」見聞記を参照頂きたいと思いますが、今後、アンケート及

び出口調査などを詳細にマーケティング分析し、ご報告させて頂くと共に、主催者として課題については次年度に向け改善に努めていく所存です。

尚、開会式、及び、新会場開催記念基調講演として行われた、経済産業省 江澤氏、NHK 技研 大久保氏による講演会の模様は下記の通りです。



開会式テープカット(写真左から中川実行委員長、電波新聞社 平山社長、経済産業省 商務情報政策局 情報家電戦略室 江澤室長、日本オーディオ協会 校条会長)



江澤氏講演: AV 機器産業の現状と今後について



大久保氏講演: スーパーハイビジョン(8K・22.2ch)の技術解説と今後の展開